

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ばくのゆめ(放デイ)			
○保護者評価実施期間	令和7年1月23日 ~ 令和7年2月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年1月23日 ~ 令和7年2月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動で異年齢との関わりが持てる	異年齢児の中でそれぞれの特性や性格を理解した上で子ども達が刺激し合い、遊びや生活に自信を持って過ごせるような場面や環境作りを行っている。	子ども達それぞれに出来る事の役割を設定し、達成感を得ることで自分の努力や実力を認めることができ、自己肯定感を高めていけるような機会を作っていく。
2	多彩なプログラム活動	四季を感じる制作活動や社会性を養うための外出行事やイベント、地域交流の機会があれば参加している。 毎月「昼食クッキング」「おやつクッキング」にはこだわりを持ち、食育をはじめ、安全な調理器具の使い方を楽しみながら学び、達成感を育む活動を行っている。	クッキングは時間を要するため実施日が学校休日に限定されてしまうので、学校授業日でも「簡単おやつクッキング」等のプログラムを取り入れていく。
3	夏季には大きなプールを設置し、毎日プール遊びが楽しめる	プールが好きな児童が多く、希望者も多数なのでグループ分けをし安全管理を徹底した上でプールに入れる期間を長めに設定している。	熱中症対策としてタープテントを張り、安全対策を徹底した上でプール時間を楽しめるよう継続して行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動スペースが狭い 部屋数が少ない	曜日によって異なるが、特に高学年では運動を取り入れた集団でのゲームには狭さを感じる。 パニックや気持ちが崩れた時にすぐに使用できる個室がない。	長期休暇等には体育館などを借り、運動活動ができるよう検討する。 必要に応じて間仕切りを設定し、部屋数を確保する。
2	父母の会の活動支援や保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会がない	父母が参加できるイベントがない。 定期的な保護者会を開催出来ていない。	保護者様が交流できる場やイベント企画を検討していく。
3			